

～校舎の老朽化対策を～

文教委員会

7月26日に執行部から、「令和2年度3学期の主要事業の実績状況」「令和3年度の主要事業の概要及び1学期の状況」について説明を受け質疑を行いました。

また、令和3年度熊野町がんくまプロジェクトの取り組みと、令和2年度熊野町標準学力調査結果概要の報告を受けました。

○令和2年度熊野町標準学力調査結果について

町内児童生徒の学習状況は概ね良好でしたが、小学校では2年生の国語・算数、4～6年生の理科が、中学校では2年生の社会が全国平均を下回り、課題となっています。

小学校の理科は実験観察の指導を充実させ、実感の伴った理解を目指していき、中学校の社会では、複数の資料をもとに考察することに苦手意識があるとの結果から、資料に関する知識を定着させて、思考・表現できるよう、授業改善していくとのことです。

○令和3年度の主要事業「町立小学校老朽化応急対応工事」について

主な質疑

Q. 劣化が進む校舎において、コンクリート片落下防止の応急的な対応工事が、熊野第二小学校（北校舎）と熊野第三小学校（南校舎）で予定されている。予算額から勘案し、適切な工事が行われるのか、子どもたちの安全は守られるのか。

A. 実際に目に見えて危ない箇所をピンポイントで改修する。これまで大規模改修で耐震化補強を実施してきたが、今後、長寿命化計画に沿った改修を進めていく。町財政が厳しい状況の中でも、子どもたちの安全を守るために必要な工事は行っていく。



▲経年劣化が進む校舎（熊野第三小学校）

当委員会では引き続き、安全安心で、子どもたちの学び舎にふさわしい景観が保たれる環境整備となるよう、協議・要望していきます。

～令和3年度活動計画を確認～

総務厚生委員会

9月27日に総務厚生委員会を開催し、活動計画の確認と10月以降、重点的に取り組む調査項目について協議をしました。

重点調査項目

1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止について

国の方針に沿って着実に進められているワクチン接種の現状把握を行い、未接種者に対する働きかけについて町の健康福祉部と共有することとした。

新型コロナウイルスワクチン 集団接種バス▶



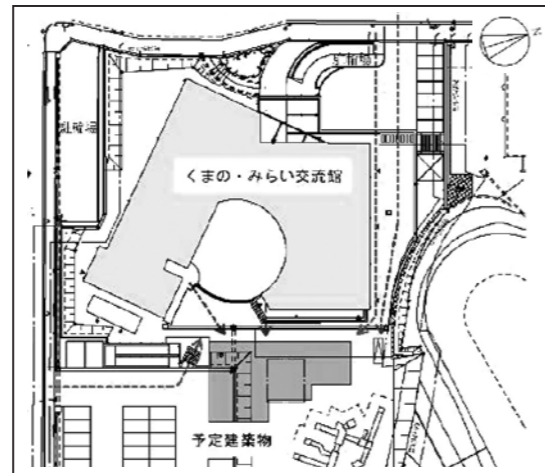
2. 防災・減災について

今年度中に完成予定の熊野西防災交流センター（仮称）建設工事の現地調査を行う。

※くまの・みらい交流館敷地内にペット同行可能な施設として建設。

※施設の概要

構造：鉄骨造
階数：平屋建て
建築面積：307.72㎡
延床面積：307.72㎡



▲熊野西防災交流センター（仮称）配置図

3. 筆の里工房周辺開発計画について

筆の里工房周辺開発計画は、筆の里工房と一体となった体験交流を中心とする「観光交流拠点」としての公園を整備する計画。新型コロナウイルス感染症等の影響により計画を見直されたが、終息の状況に併せ調査・研究を継続する。

あ
と
が
き

紅葉の美しい季節となりました。感染予防をしっかりととして、郊外に出かけてみたいものです。さて今回から紙面を大幅に刷新しています。表紙と裏表紙を連動企画として地域の団体を掲載しています。また決算認定や定例会の内容などは、町民の皆様により分かり易い表現・レイアウトを心がけています。広報委員一同、多くの皆様に議会の様子が伝わるよう、今後とも一層努めてまいります。

沖田ゆかり



次の定例会は

12月14日
(火曜日)
開会を予定しています

議会だより題字

小田原正龍さん